

# これまでの20年の歩み



第1回10チーム(県内10)「YOSAKOIかいかい祭り」の名称で開催。



第2回16チーム(県内15、その他の県外1)県外チームが初参加。



第5回32チーム(県内31、その他の県外1)参加チーム数が当初の3倍に増加。



第6回から「能登よさこい祭り」に名称を改変。

第10回40チーム(県内29、富山県3、新潟県3、その他の県外5)参加チーム数が40の大台に。



能登半島地震での風評被害を能登よさこい祭りの開催によって能登は元気だと伝え、復興の一助となる。



第14回50チーム(県内22、富山県16、新潟県6、その他の県外6)参加チーム数が50の大台にのり、県外チームが県内チームを上回る。



第15回53チーム(県内23、富山県18、新潟県6、その他の県外6)



第19回65チーム(県内23、富山県23、新潟県7、その他の県外12)県外チームが増え、参加チーム数が過去最高を記録。



第20回64チーム(県内25、富山県22、新潟県7、その他の県外10)

# 大賞チーム名

- 第1回 平成9年(1997年) 和倉温泉商店連盟(七尾市)
- 第2回 平成10年(1998年) 加賀屋エストヴァンズ(七尾市)
- 第3回 平成11年(1999年) ちゃっとこいめだかつちや(輪島市)
- 第4回 平成12年(2000年) 夢遊人(七尾市)
- 第5回 平成13年(2001年) 加賀屋エストヴァンズ(七尾市)
- 第6回 平成14年(2002年) 夢遊人(七尾市)
- 第7回 平成15年(2003年) 夢遊人(七尾市)
- 第8回 平成16年(2004年) 田鶴浜鶴の舞(七尾市)
- 第9回 平成17年(2005年) 颯爽JAPAN(兵庫県)
- 第10回 平成18年(2006年) 能登國涌浦七士(七尾市)
- 第11回 平成19年(2007年) 加賀屋エストヴァンズ(七尾市)
- 第12回 平成20年(2008年) 花鶴風月(七尾市)
- 第13回 平成21年(2009年) 花鶴風月(七尾市)
- 第14回 平成22年(2010年) 能登國涌浦七士(七尾市)
- 第15回 平成23年(2011年) 能登國涌浦七士(七尾市)
- 第16回 平成24年(2012年) 能登國涌浦七士(七尾市)
- 第17回 平成25年(2013年) 白鷺童子(七尾市)
- 第18回 平成26年(2014年) 白鷺童子(七尾市)
- 第19回 平成27年(2015年) のとしん舞遊人(七尾市)
- 第20回 平成28年(2016年) 舞士道(志賀町)



# 能登よさこい祭りに入賞した地元チーム



**金賞** 高知県知事賞  
舞幻



**準大賞** 石川県知事賞  
加賀屋エストヴァンズ



**銀賞** 高知市長賞  
いやさか組



**銀賞** 七尾市長賞  
白鷺童子



**優秀賞** 和倉温泉商店連盟会長賞  
能登國涌浦七士



**優秀賞** 七尾市観光協会会長賞  
のとしん舞遊人

第5回から大会に参加し、9回大会から連絡協議会会長を務める赤坂さん。能登よさこい祭りが20回続いた理由を「いろいろチャレンジしながら少しずつ形を変えてきたから」と話した。祭りを全国に発信するため、必死にならざるを得ない。北信越地区のよさこいチームで連絡会を立ち上げ、横のつながりが広がったことで、今では全国からチームが集まるようになった。

また、踊り子、特に若い人たちの声を聞くことを心掛けた。今年新たに湯つくりパークに演舞場ができたのも若い人の意見がもたらした。新しいことを認めてくれる町やチームの代表で連絡協議会だけでなく、かつての踊り子や有志など、応援団のような人たちにも支えられてきた。

「これからも踊りたい人たちに場所を提供していきたい。リピーターの参加者が多いのも誇れるところ。鳴子を通して出会った宝物の仲間たちとの大会を盛り上げていきたい」と大会のさらなる進化を楽しそうに話した。



加賀屋エストヴァンズ  
能登よさこい祭りがスタートして20年。多くの諸先輩方に支えられて今の「加賀屋エストヴァンズ」があります。毎年、新入社員が地域との繋がりと共存を学ぶ場として、チームの結束力を養う場として、脈々と歴史は受け継がれてきました。先輩から後輩へ。今後も熱い「血の伝承」は続きます。

のとしん舞遊人  
能登よさこい祭りも今年で20回目の出場となりました。第1回目の大会から若さと元気をチームカラーとして地域のお祭りを盛り上げようと頑張ってきた。20年の間にお祭りは大きくなり、当チームも地域の活性化に少しは貢献できたのではないかと感じています。長きにわたるたくさんのご声援をいただき本当にありがとうございます。

和倉商人連  
20回出場チームのコメント  
和倉商店連盟チームとして続けることに力を入れ、そしてこの祭りに集まってくれたすべての人に喜んでいただけるチームを目指して参りました。

20年連続出場者の2人を中心に今後も頑張ります。和倉商人連をよろしくお願いたします。

